

はじめに

「投資信託にだまされるな！」

「ファイナンシャル・プランナーにアドバイスを聞くな！」

「医療保険をいまずぐ解約せよ！」

節約ブームの影響も大きく、ここ数年の「マネー本」は、投資信託や保険商品を否定するものが目立ちます（それなりに、本の売れ行きも好調のようですが……）。

しかし、投資信託や生命保険などの金融商品を、それなりに理解している者から言わせていただくと、この類いのマネー本は、あまりにも極論すぎます。

生活費を切りつめてまで貯金をする、交際費を削る、「FREE（無料）」でなるべく済ませようとするもののほうが、将来的に考えて不利益ではないかと思うのです。

また、このようなことをいえば、反感を買うかもしれませんが、多くの投資家やファイナンシャル・プランナーは、机上の空論になっていることも珍しくないので。

ここで先に、私の立場を明らかにしておきますが、私は自称「実践派FP（ファイナンシャル・プランナー）」であり、投資信託や保険などを取り扱うプロです。

複数の保険会社を登録する総合保険代理店に身を置き、個人としては証券マン（金融商品取引業者）でもあります。さらには、頻繁にマネーセミナーを主催し、3000世帯を超えるファイナンシャル・プランニングのアドバイスをさせていただいています。

つまり、投資信託や医療保険について、比較的肯定的に述べる立場にいます。

ですから、「なんだ、単に投資信託や保険を販売したいから、この本を書いたのか！」などと思われるかもしれませんが、決してそうではありません。

事実として、私は投資信託を有効活用し、自分の資産を増やしていますし、顧客対応の実体験からも、投資信託や生命保険がダメな金融商品とは、まったく思いません。

世の中は、未だに投資に対する偏見があります。お金とは、汗水をたらして稼がなければいけないというギャンブル的な偏見です。

でも、このような考え方は、これからの時代には通用しません。

もはや日本は、かつてのように人口も増加し、経済全体も成長し、公的年金制度もしっかりと機能していた時代ではないからです。今後の時代を見据えたいうえで、不透明な時代

を生き抜く方策（投資）を有効的に活用しなければいけない時代なのです。

ただ、お金についてなんの知識もなく、買い方や選び方、今後の時代の見通す目を持っていなければ、前述のように「だまされてしまう」ことになるかもしれません。

ですから本書では、実践派FPの視点から、時代や商品の本質を見極め、未来の生き方を述べたいと思って書きました。

もちろん、投資初心者やこれから始めたいという「マネー知識ゼロ」の方でも理解できるように、お金の正しい判断基準や実践に役立つ情報、資産づくりに必要なお金の基礎知識まで、やさしく解説していきます。

いま世界は、本当に大変な時代になりました。

「安全な選択をしても、実際のところは安全ではない」ということがたくさんあります。

雇用が不安定なうえに、国の年金も期待できないこれからは、本業を大切にしながら、生きるためにも賢い資産づくりへの取り組みが、各家庭に求められています。

本書が、あなたの資産づくりに、ほんの少しでもお役に立てたら幸いです。

序章

景気は回復するが、 給与が増える時代は終わった

1 あなたの家計を破綻させる7つの理由……………016

普通の家計も崩壊する新時代の到来 016

だからこれから先も給与は上がらない 018

これからは「ゼロ成長」前提の人生設計が必要 020

2 不透明な時代だからこそ人生を終わってから計画する……………022

人生に「中期・長期」の目標を立てる 022

これからの老後はいくら必要か？ 023

50歳を超えてからの資産づくりは難しい 025

健康面でも50歳以降は罹患率が急上昇！ 027

3 50歳までに3000万円貯めておきたいワケ……………029

第一次老後資金の目標金額は3000万円がよい 029

マネー本のとおり「貯蓄」や「運用」で1億円もつくれるのか？ 030

1章

「投資信託にだまされるな！」に
だまされるな！

- 1 だからあなたは「投資信託にだまされる」……………034
投資信託がわかる3つのポイント 034
「国債＝安定運用」の幻想 036
- 2 「株式・債券・投資信託」と「お金の運用」のポイント……………038
株式と債券の違いを理解する 038
運用の基本を押さえる 042
少ない資金でも「運用」できる投資信託 044
- 3 ほったらかし「長期・分散投資」ならだまされて当たり前……………047
日本は長期投資も効果なし!? 047
投資国家アメリカは対象になりえるか 050
投資信託でお金を増やすコツ 051
- 4 「マネー本の常識」という資産づくりの落とし穴……………055
投資信託は本当に不幸を招くのか 055
だから投資信託が選ばれる 059
よいアドバイザーを見分ける「3つの質問」 061
わからない金融商品は買わなきゃいいだけ 063

2章

やっぱり、資産づくりに倏約は欠かせない

- 1 人生の3大支出、家・教育・車をどうするか……………066
 - お金持ちになる前に家を買ってはいけない「5つの理由」 066
 - 住宅ローンで家を買うのは借金して株式投資するのと同じ 076
 - マイホームを購入した友人のウラ側 078
 - 莫大な教育投資の事実 079
 - 経済合理性を考えればクルマは買えない 082
- 2 保険は富裕層と一般層では利用目的が違うもの……………085
 - お金持ちは税金対策のために保険を使う 085
 - 法人の節税対策にも有効 087

3章

マネー知識ゼロ、資産ゼロからの貯蓄生活

- 3 家計はできるだけシンプルに管理する……………095
 - 家計は2つの銀行口座、資産は1つの証券口座で管理 095
 - クレジットカードに支配されない生き方 099
 - なぜリボ払いが問題なのか 100
- 1 貯蓄は確実に最高の自己投資……………104
 - 特徴を知ればお金は貯まる 104

貯蓄残高の増加が自信と勇気につながる
本多式「4分の1」貯金とは 106

105

2 家計のバランスシートの質を上げる……………109

資産づくりの基本は「純資産を増やす」こと 109

一にも二にも流動性が高い資産づくりを心がける 110

稼ぎが多いからではなく、貯蓄するからお金持ちになれる 112

あなたは現在の純資産を即答できるか 114

3 家計の安定は「勤儉貯蓄」を貫くしかない……………116

お金がない人ほどお金にこだわる人生を送る 116

結局は貯蓄に「強い意志」が欠かせない 118

金は三欠くに貯まる 119

お金の器は意識して大きくするもの 120

4章

余裕資金でお金を働かせる仕組みをつくる

1 資産運用は「意志」と「仕組み」と「知識」でまわる……………124

成功する投資家に共通する資質 124

投資をはじめる前に準備しておくべきもの 127

投資の前に知っておきたい3つの質問 128

2 複利がお金を増やすスピードを加速させる……………131

複利の仕組みについて 131

複利を味方につけると資産は成長する 132

資産づくりに役立つ「72の法則」 134

積立を途中でやめても資産の増加は止まらない 136

インフレやローンの複利は資産づくりの敵となる 137

3 初心者のための投資基本3原則

長期のビジョンで中期投資を実践する 140

投資対象を分散はさせるがポイントを絞る 142

毎月積立を活用する（ドル・コスト平均法） 144

4 5つの投資対象に焦点を絞る

株式 148

債券 151

債券投資とデュレーションの関係 154

不動産 157

商品 160

投資信託 162

5 リスクを上手にコントロールする法

リスクとリターンは同じ関係にある 168

リスクは時間により軽減できる 170

アセット・アロケーションで投資収益の9割が決まる 173

時間をムダにしない「有効フロンティア」 175

なぜ買いよりも売りが難しいのか 177

高値で買って底値で売れたがる一般投資家 180

5章

年代別・投資はどんな未来をつくるのか

1 年代別・資産づくり見直し術

20代会社員・Aさんの場合 184

30代OL・Bさんの場合 187

40代会社員・Cさんの場合 192

2 継続こそが力となり、資産となる……………197

投資は長く続けることが前提 197

自分でコントロールできないことをいちいち考えない 198

余裕ある投資が成功を生む 199

おわりに 202

参考文献 206